

ゴミの山から宝の山へ

地域産業の課題解決 栗殻の有効利用

岐阜県立恵那農業高等学校

恵那市・中津川は和菓子所、特に『栗きんとん』が有名です。9月から11月の3ヶ月間で1,500tの原料の栗が利用され、約半分の栗殻が産業廃棄物として焼却処分されています。

地球に負担をかけないように有効利用する取り組みをすることとした

平成17年度 雑草防除実験

大量に廃棄される栗殻を粉碎し、本校圃場の通路に栗殻を敷き、雑草防除効果を確認。



雑草の発生を防ぐことができた。

平成18年度 栽培実験(継続実験)

プランターに対し栗殻 0.10.30.50%入れミニトマトを栽培し、生育への影響調査を実施。

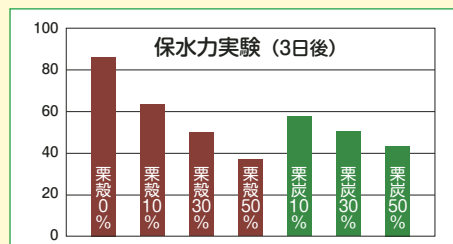


栗殻を入れたものが全て生育が良かった。0%に比べ30%が1.7倍と一番重い。

平成19年度

① 土壌改良材実験

畑に混ぜた栗殻が、保水性や排水性を良くする土壌改良材としての効果があるのかを調査。



栗殻の割合が多いほど、保水性・排水性を良くする効果あり。

② 堆肥化実験

地元堆肥製造会社と連携し、大量の栗殻を利用するため栗殻堆肥の製造。

11月下旬に栗殻堆肥の製造を開始し約3ヶ月間で完成。



平成20年度 栗殻堆肥を地域へ普及

① 栗殻堆肥の商品名を考える

3つのキーワード

- 栗殻できている
- ビニールマルチの様に利用してもらおう
- 環境に優しい

栗〜んマルチ と命名。

② 「栗〜んマルチ」の無料配布

「栗〜んマルチ」を地域へ普及させるために、無料配布。



約50トンの栗殻。



本校販売所で無料配布の様子。



多くの団体の方が利用(畑の通路に)。

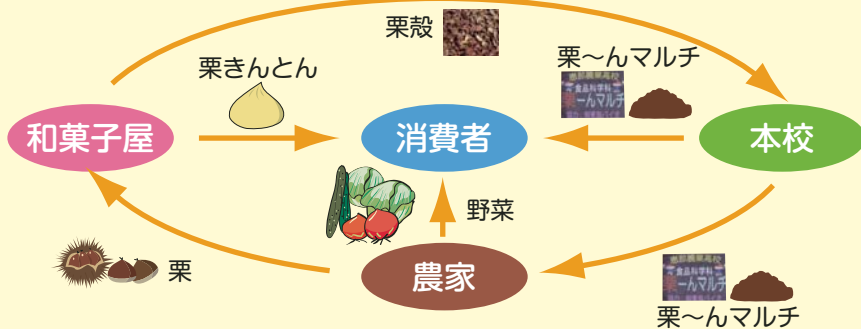


プランターに利用。



4ヶ月間で約12トンを利用してもらうことができた。

栗〜んタウン恵那を目指して



CO2削減効果

平成19年度 **170t**

協力会社等 中山間農業研究所
(株) 恵那寿や、(株) 東海バイオ、山田農園